TDM施策の実施について

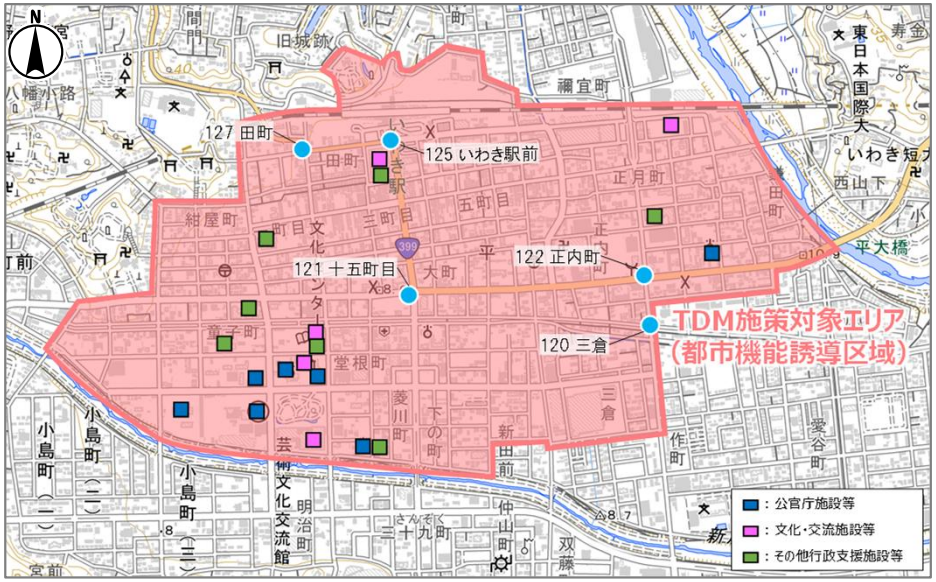
(1)TDM施策「エコ通勤」の概要

●TDMとは、Transportation Demand Management(交通需要マネジメント)の略称で、自動車利用者の交通行動を変化させることで、道路交通の混雑緩和を目指す取り組み。
●今年度のTDM施策は、昨年度と同様に『エコ通勤』として「公共交通(鉄道・バス)利用の促進」「徒歩・自転車通勤の促進」「時差出勤」の他に、「相乗り通勤」「在宅勤務」の取組メニューを追加し、「いわき市平地区中心部」の混雑緩和を目指します。
●令和8年10月1日(木)～同年10月30日(金)を「エコ通勤実施日」とし、10月の最終週をエコ通勤実施強化日に設定。

▼「エコ通勤」取組メニュー

取組メニュー	期待出来る事象	期待出来る効果
公共交通(鉄道・バス)利用の促進	自動車交通の削減	・渋滞緩和 ・CO2削減
徒歩・自転車通勤の促進		
相乗り通勤		
在宅勤務		
時差出勤	ピーク時間帯の交通量を分散	

▼TDM施策「エコ通勤」対象エリア



※国土地理院地図を加工して使用

▼TDM施策「エコ通勤」実施期間

令和8年　10月

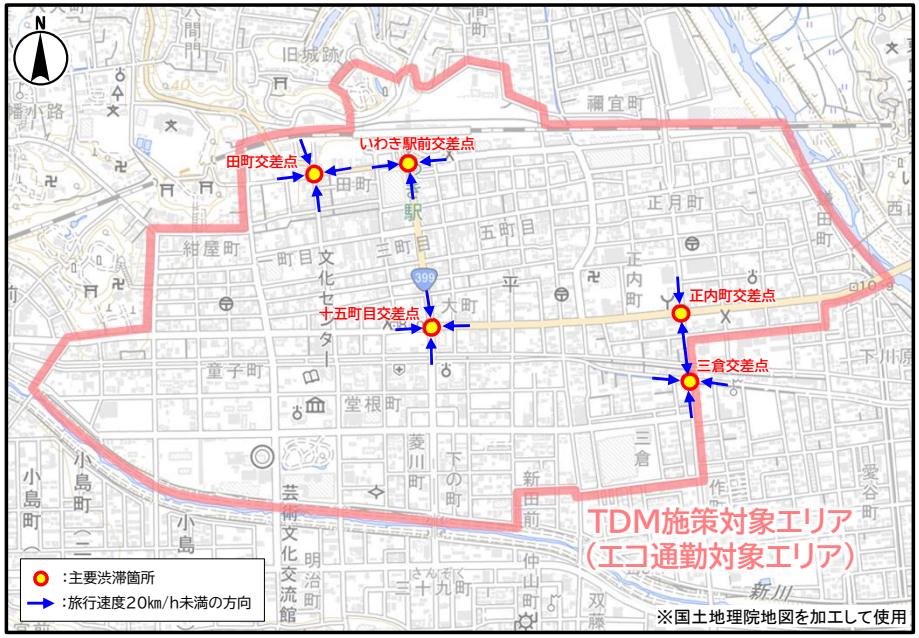
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12 スポーツの日	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

エコ通勤実施日
エコ通勤実施強化日

TDM施策の実施における効果について

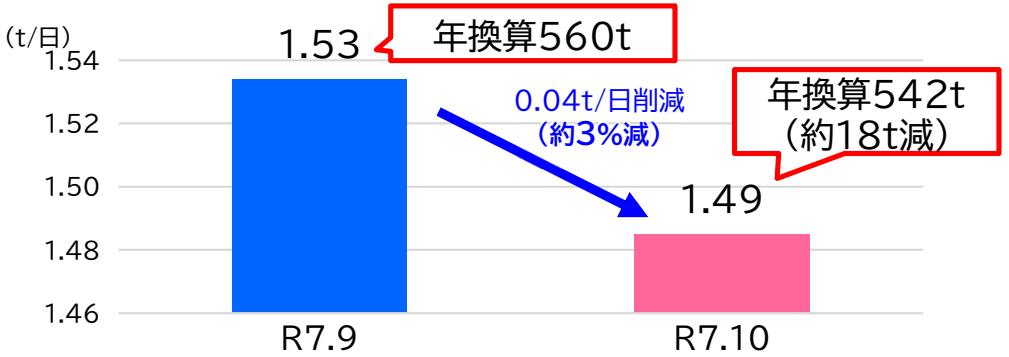
TDM施策により、平日7時台のいわき市平地区中心部のCO2排出量が約3%削減され、
「CO2排出量削減による都市環境の改善」の効果がありました。

▼エコ通勤対象エリアの主要渋滞箇所における20㎞/h未満の方向（7時台）



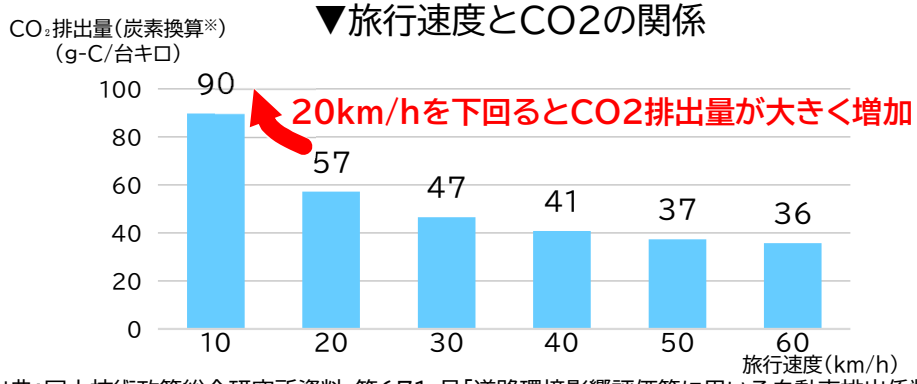
出典：ETC2.0データ（R7.10平日　7時台）

▼昨年度の効果検証結果
平日7時台のいわき市平地区中心部のCO2排出量



出典：ETC2.0データ（現況：R7.9平日、実施中：R7.10平日）、R3センサス時間帯別交通量
※8時台データを集計
※交通量：エコ通勤対象エリア内にある県警トラカンの加重平均増減率（R7.9平日/R7.10平日）をR3センサス時間帯別交通量に乗じて算出
※CO2排出量：速度に応じたCO2排出原単位に、走行台キロを乗じて算出
※走行台キロ：交通量に区間距離を乗じて算出

▼旅行速度とCO2の関係



出典：国土技術政策総合研究所資料　第671　号「道路環境影響評価等に用いる自動車排出係数の算定根拠（平成22 年度版）」
※小型車の排出原単位を炭素換算して算出